

令和 7年度予算見積調書

課室名：薬務課
 担当名：総務・温泉・薬事相談担当
 内線：3624 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S211	薬剤師確保対策事業			一般会計	衛生費	医薬費	薬務費	医薬分業支援事業費		
事業期間	令和 6年度～ 令和 8年度	根拠法令	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律			針路	03 介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3	
						分野施策	0305 医薬品などの適正使用の推進	SDGsターゲット	3-8	
1 事業の概要 令和5年6月の「薬剤師確保計画ガイドライン」に基づき、地域の実情に応じた薬剤師確保の取組を推進することが求められている。県内の病院・薬局における実態調査の結果等を踏まえて策定した薬剤師確保のための施策を実施する。 薬剤師確保対策事業 3,170千円				5 事業説明 (1) 事業内容、(2)事業計画 県内の薬剤師、特に病院に勤務する薬剤師の確保・定着を図るため、次のような取組を行う。 ア 病院薬剤師の定着及び偏在解消事業 ・各病院でカスタマイズできる標準的な研修プログラムを作成し、県内病院に展開することで、新人薬剤師の育成・定着を図る。 ・特定機能病院等の薬剤師を、薬剤師の不足する病院に出向させる体制を構築し、病院薬剤師の地域偏在の解消を図る。(令和6年6月新設の薬剤業務向上加算が適用される。) イ ICTの活用を含めた業務効率化事業 ・ICTの活用を含めた業務効率化に係る取組事例やノウハウを収集し、事例を展開する。 ウ 在宅医療に対応した薬薬連携の推進事業 ・新たに病院薬剤師と地域の薬局薬剤師(薬薬連携)が協議や情報交換をできる場を作るとともに、スムーズな薬薬連携ができるようマニュアルを作成し在宅医療の支援を行う。 エ 高校生を対象とした職業体験事業 ・薬剤師の業務内容や魅力を体験してもらう職業体験イベントを開催する。 オ 薬学生向け事業 ・県内の病院で勤務する薬剤師を増やすため、就職イベントに出展し薬学生へ積極的なPRを行う。 カ 潜在薬剤師の復職支援事業 ・潜在薬剤師を病院薬剤師として復職してもらうため、復職支援セミナー等を実施する。 (3) 事業効果 県全体の薬剤師数の底上げを図るとともに、病院薬剤師の増加を図る。 【活動指標(アウトプット)】 ア 病院薬剤師の定着及び偏在解消事業 研修プログラムの作成 イ ICTの活用を含めた業務効率化事業 事例の展開 ウ 在宅医療に対応した薬薬連携の推進事業 マニュアルの作成 エ 高校生を対象とした職業体験事業 職業体験イベントの開催 2回 オ 薬学生向け事業 就職イベントへの出展 1回 カ 潜在薬剤師の復職支援事業 復職支援セミナー等の実施 【成果指標(アウトカム)】埼玉県薬剤師偏在指標 1.0以上(令和18年度)						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)										
3 地方財政措置の状況 なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.4人=13,300千円										
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
決定額	3,170							3,170	△769	
前年額	3,939							3,939		

事業内訳書

事業名	薬剤師確保対策事業		
単位事業名	薬剤師確保対策事業	予算額	3,170千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	3,170	718	
合計	3,170	718	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	168	△372	謝金 14人
旅費	10	10	県内病院・薬局への訪問 5回
需用費	100	0	経常費
役務費	390	△1,222	アンケート送付
委託料	2,502	2,302	薬剤師確保対策事業の実施
合計	3,170	718	